



SSH 通信



広島大学附属高等学校

SSH 通信作成委員

2026 年度 第 2 号

2026 年 5 月 25 日発行

皆さんこんにちは。2026 年度の SSH 通信作成委員です。この SSH 通信 第 2 号では、先日実施された高校 I 年生の「カーボンサイクル特別講義」と高校 II 年生の「先行研究発表会」についてお知らせします。

<カーボンサイクルに関する特別講義：高 I 5 月 1 日（金）>

〔概要〕高 I の総合科学において、広島県商工労働局環境・エネルギー産業課の河野陽様、山本楓華様に来校いただき、カーボンサイクルに関する特別講義を行っていただきました。「カーボンサイクルを知ってますか」との問いかけから始まり、広島県が抱える課題、持続可能な社会への貢献と、そのための視点や技術について学びました。またこの分野では産官学連携事業も進められており、今年度からは、高校生に対する研究助成も開始されることが紹介されました。この講義を経て、高 I 生は冬から始まる課題研究を進めるための第一歩を踏み出しました。



〔学び〕

- ・単純に二酸化炭素排出量を減らしていくのではなく、活用していこうとしていることを学びました。特に感心したのは、コンクリートの中に二酸化炭素を閉じ込める技術です。約 118 本分の杉が一年間に吸収する量だと知り、これを生産していけば二酸化炭素はなくなっていくのではないかと思います。
- ・2050 年までに温室効果ガスの排出をゼロにする「カーボンニュートラル」。未来のことをより身近に感じるといういい経験になった。C（炭素）を「資源」として利用するという新たな考え方を知ることができた。特に、太陽光発電版に CO_2 、 H_2O を混ぜて、ギ酸と SiO_2 を作るという発想が面白いと思った。僕も未来のために考えながら生きる大人になりたい。

<先行研究発表会：高 II AS コース 5 月 13 日（水）>

〔概要〕先行研究発表会では、高 II AS コースそれぞれのグループがこれまで進めてきた研究内容を、準備してきたスライドで発表し、質疑応答を行いました。発表会を通して各グループが取り組もうとしている研究の構想や、それに対する先行研究を整理し、各自の研究の独自性を明確にすることができました。また他のグループの発表を聞くことで、問いの設定や研究方法などについて、改めて各自の研究を見直し、クオリティをより高める助けにもなりました。質疑応答の場面では、他グループの生徒や本校指導教員の先生方、広島大学名誉教授の前原俊信先生や林武広先生など、様々な視点の人からの意見を聞くことができ、今後の研究の見通しを持つとともに、科学研究の奥深さと難しさを実感する時間となりました。



〔学び〕

- ・先行研究発表会では、高 II AS コースの生徒が、それぞれの研究内容に関連する先行研究を調べた上で、研究テーマについて、スライド発表を行いました。その後、発表に対して生徒や先生方から質問や助言を受け、研究を改善する良い機会となりました。また、他グループの研究内容を知ること、同じ AS グループとしての交流を深めることができました。最後には、各分野の大学教授など、専門家の方々から、研究に対する意見や研究者としての心構えを学び、研究意欲を高めることができました。
- ・今回の先行研究発表会は、広島大学の先生方にご指導・ご助言をいただくためにおいでいただき、研究についての見識を深める大変有意義な時間となりました。他グループの研究方針や考察に触れることで、自分たちの研究を改めて見つめなおし、多角的な洞察を得ることができたと感じています。先生方からの温かいご助言をいただき、より一層活力を持って研究に励んでいこうと思います。

第 3 号では、「イノベティブサイエンス講義（高 I）」や校外における課題研究発表について紹介する予定です。